

牛久：学校周辺に見る自然

第3号 ひたち野うしく小学校

2018年4月22日発行

＜ 春の学校周辺で生きもの観察 ～③その他の動物たち＞

ひたち野うしく小3年生と歩いた学校うら。今回は、その他に観察できた動物たちを紹介いたします。



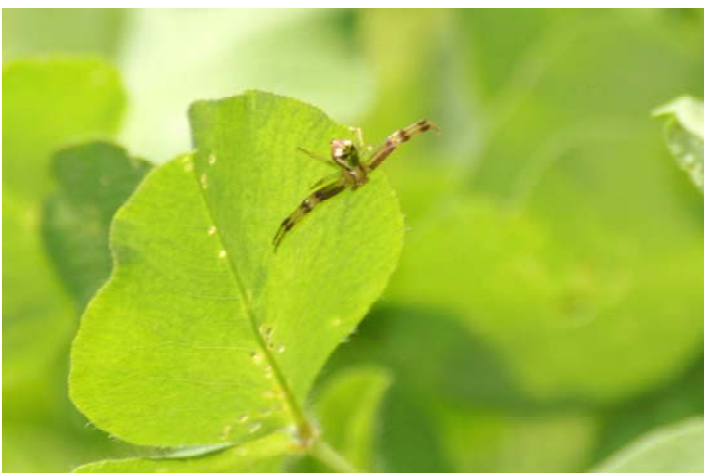
小さいけれど、これでおとなのヒシバッタ(左)。ひと回り大きい、幼虫のヒメギス(右)。

バッタのなかまはまだあまり見られないかと思っていましたが、小さなヒシバッタがたくさんはねていましたね。小さいけれど、これでもおとなです。が、はねが短くて飛ばません。ジャンプするだけです。そう考えるとすごいジャンプ力ですね。人間におきかえたら…。草の葉ではなく、地上の藻を食べるそうです。幼虫では、ヒメギスとヤブキリが見られました。どちらもキリギリスのなかまで、ヤブキリの成虫は虫をつかまえて食べますが、幼虫は花を食べます。タンポポの花粉を食べていましたね。ヒメギスも成虫は雑食ですが、幼虫は草の葉を食べているのをよく見ます。



「赤いバッタがいるよ～」と言うので見に行くと、はねを開いて飛んでいきましたね。遠くによく分かりませんでした。が、どうもカメムシのなかまのようでした。写真をとって、あとで調べたら、アカサシガメでした。草むらなどで、小さな虫を食べてくらしているそうです。特にめずらしい昆虫ではないようですが、私ははじめて見ました。

虫を食べてくらす赤いサシガメ、アカサシガメ。



みんなでカラスノエンドウの観察をしていたら、近くのムラサキツメクサで動くものがありましたね。葉のうらにいたのは、ハナグモのおす。よく見ると、おなかに人の顔のようなものがあります。名前のおり、花などにかくれてえものが来るのを待ちます。

ムラサキツメクサの葉のうらで、えものをまちぶせるハナグモのおす。



カタツムリを見つけてくれたお友だちもいました。よばれて見に行くと、交尾中のウスカワマイマイでした。カラのまだらもよは、カラがうすくてなかみがすけて見えているのだそうです。いろいろな野菜を食べてしまうので、農家の人にとっては困ったカタツムリです。

カラがうすく、なかみがすけて見えるウスカワマイマイ。



カナヘビも、見つけてくれましたね。男の子には人気者のようで、みんなでさわっているうちに、しっぽが切れてしまったクラスもありました。切れたしっぽがクネクネ動くのは、なんともふしぎでしたね。切れても再生しますが、もとの長さまでもどるのかな？

アジサイの葉の上にいるカナヘビ。この後、根もとにもぐってしまった



最後に、鳥のなかま。電線にスズメとモズのおす。高い空に、ヒバリを見ました。すばやくて写真にはとれませんでした。ツバメも飛んでいましたね。もう、巣作りの季節です。巣を見つけたら、教えてください。そして、ヒナが巣立ちするまでずっと見守りましょう。【理科支援員：宮内】

電線にとまっていたスズメ(左上)とモズのおす(左下)。高い空で鳴いていたヒバリ(右)。